令 和 3 年 度

事 業 報 告 書
決　　算　　書

公益社団法人 発 明 協 会

ー 目　　次 ー

Ⅰ－Ⅰ．令和３年度事業報告書
1．事業概況（令和３年度を振り返って）.....3
2．総　　裁.....3
3．役員構成.....3
4．会員数.....3
5．会議等.....4
6．登記事項.....5
7．組織及び職員数.....5
8．恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈.....6
9．発明奨励振興事業.....6
（1）全国発明表彰.....6
（2）地方発明表彰.....7
（3）戦後日本のイノベーション100選.....7
10．青少年創造性開発育成事業.....7
（1）全日本学生児童発明くふう展.....7
（2）未来の科学の夢絵画展.....8
（3）未来の科学の夢絵画展　ネット美術館.....8
（4）少年少女発明クラブ事業.....9
（5）全国少年少女チャレンジ創造コンテスト.....9
（6）東京都児童生徒発明くふう展.....9
（7）青少年創造性開発育成海外交流.....10
（8）発明の日及び科学技術週間協賛事業.....10
（9）青少年創造性開発育成委員会.....10
（10）青少年創造性開発育成事業へのご協賛.....10
11．知的財産権制度普及等事業.....10
国際知的財産保護フォーラム.....10
12．地域機関との相互連携.....10
発明協会会長等懇談会（8地方ブロック）.....10
13．関係省庁への協力.....11
（1）文部科学省表彰関係事業への協力.....11
（2）特許庁知財功労賞への協力.....11
14．東京発明推進協議会の活動.....11
15．公益事業の広報活動.....11
Ⅰ－Ⅱ．事業報告書の附属明細書
事業報告書の附属明細書.....12

Ⅱ．令和３年度決算書
貸借対照表.....13
正味財産増減計算書.....14
正味財産増減計算書内訳表.....15
財務諸表に対する注記.....16
附属明細書.....17
財産目録.....18
収支計算書.....20
収支計算書（資金ベース）.....21

Ⅰ．令和３年度事業報告書

1. 事業概況（令和３年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和 3 年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業においては、全国発明表彰で恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国 8 ブロックで地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、少年少女発明クラブ事業等を実施した。なお、全国少年少女チャレンジ創造コンテストについては新型コロナウイルス感染症の予防対策が困難であることから開催を中止した。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、各事業における選考を一部オンライン等に切り替えたほか、職員に対してはテレワークや時差出勤を推奨し、職場での感染防止に努めた。

以下、令和３年度の事業について報告する。

2. 総　裁　　常　陸　宮　殿　下

3. 役　員　構　成　（令和４年３月 31 日現在）

会　　長	1名	（代表理事）
副 会 長	6名	（うち１名代表理事）
専務理事	1名	（業務執行理事）
常務理事	2名	（業務執行理事）
理　　事	32名	
監 査 役	2名	
特別顧問	2名	
顧　　問	2名	
参　　与	2名	
幹　　事	125名	

4. 会　員　数　（令和４年３月 31 日現在）

394 社・名

5. 会　議　等

（1）定時総会

日　時　　令和３年６月 22 日　13：15～13：50
場　所　　虎の門三丁目ビルディング　２階会議室
議　事　　＜決議事項＞
　第１号議案　令和２年度事業報告及び決算承認の件
　第２号議案　役員選任の件
＜報告事項＞
　令和３年度事業計画及び同収支予算報告の件

（2）理事会

①日　時　　令和３年５月 18 日 13：30～14：20
場　所　　Web 会議システムを利用したオンライン形式で開催
議　題　　(1) 令和２年度事業報告及び決算（案）について
(2) 役員選任（案）について
(3) 定時総会の招集（案）について
(4) 参与の推薦について
(5) 幹事の推薦について
(6) 2021 年度 公益財団法人ＪＫＡ補助事業 について
報告事項　(1) 代表理事等の職務執行状況
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入
(3) 令和２年度 青少年創造性開発育成事業へのご協賛
(4) その他

②日　時　　令和３年６月 22 日 14：10～14：25
場　所　　Web 会議システムを利用したオンライン形式で開催
議　題　　(1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
(2) 代表理事の選定について
(3) 顧問の推薦について
(4) 参与の推薦について
(5) 幹事の推薦について

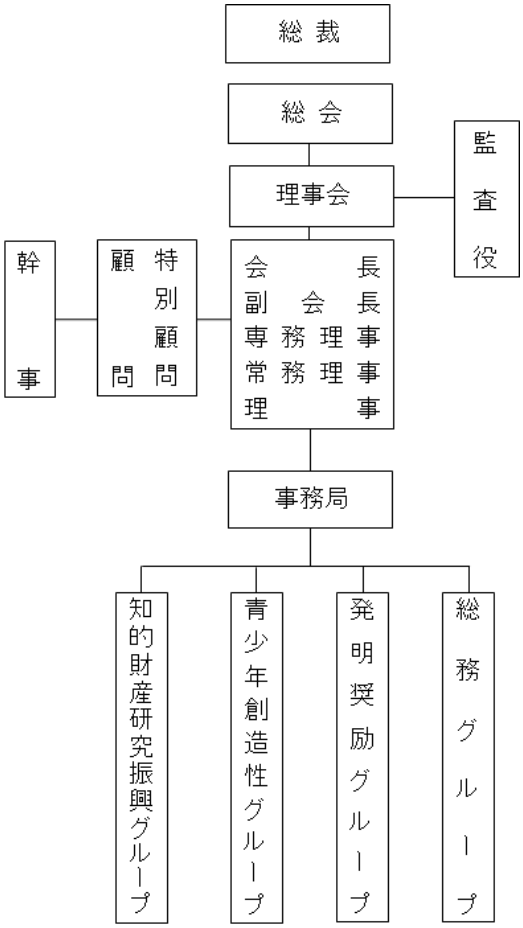
③日　時　　令和４年３月 17 日 13：35～14：20
場　所　　Web 会議システムを利用したオンライン形式で開催
議　題　　(1) 令和４年度事業計画・同収支予算（案）について
(2) コンプライアンス規程（案）の新設について
(3) 法令等の遵守に係る内部通報制度・設置運用規程の廃止について
(4) 理事会運営規程の変更について
(5) 事務局長の交代について
報告事項　(1) 代表理事等の職務執行状況の報告
(2) その他

6. 登　記　事　項

役員変更登記　　令和 3 年 7 月 15 日
理事変更登記　　令和 3 年 10 月 25 日

7. 組織及び職員数　（令和 4 年 3 月 31 日現在）

機構・組織図



職員数　19 名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和 3 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その栄誉を讃えた。また、第 80 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

○恩賜発明賞　「大視野ＣＴ検出器用データ読み出し方法の発明」
宮崎　博明　　キヤノンメディカルシステムズ株式会社
荒舘　　博　　元　東芝メディカルシステムズ株式会社

○恩賜記念賞　「自動換気装置エア・フレッシュ」
工藤　貴博　　私立聖光学院中学校 2 年

9. 発明奨励振興事業

（1）全国発明表彰

主催　　発明協会
後援　　文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和 3 年度は、地域の発明協会、関係団体等からの推薦により、意匠・電気・化学・機械及び未来創造専門部会を経て、令和 3 年 4 月 15 日の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、未来創造発明賞、未来創造発明奨励賞を受賞した法人の代表者に未来創造発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し、令和 3 年 6 月 22 日オークラ東京（The Okura Tokyo）において挙行した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞	1 件　2 名	特別賞	9 件 26 名
発明賞	11 件 46 名	発明実施功績賞	10 件 12 名

○第 2 表彰区分

未来創造発明賞	1 件 1 名	未来創造発明奨励賞	2 件 7 名
未来創造発明貢献賞	3 件 4 名		

○発明奨励功労賞　　9 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を贈呈し、特別賞、未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞受賞者にはそれぞれ発明奨励金を贈呈した。

（2）**地方発明表彰**

主催　　発明協会

共催　　46 道府県発明協会

後援　　文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、岩手県、長野県、三重県、京都府、山口県、愛媛県、宮崎県、日本弁理士会、工業所有権電子情報化センター

令和 3 年度は、地域の発明協会から多数推薦された中から、令和 3 年 7 月 16 日に開催した中央選考委員会（書面開催）及び 8 月下旬に 8 ブロックで開催した地方選考委員会（書面開催）において各賞を選考した。

表彰式は、10 月下旬から 11 月中旬にかけて以下のとおり挙行し、計 448 件、1,260 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 29 日	北海道札幌市
・東北地方発明表彰式	11 月 19 日	岩手県盛岡市
・関東地方発明表彰式	11 月 12 日	長野県長野市
・中部地方発明表彰式	11 月 17 日	三重県四日市市
・近畿地方発明表彰式	11 月 18 日	京都府京都市
・中国地方発明表彰式	10 月 25 日	山口県山口市
・四国地方発明表彰式	11 月 10 日	愛媛県松山市
・九州地方発明表彰式	11 月 5 日	宮崎県宮崎市

（3）**「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営**

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

（1）**全日本学生児童発明くふう展**

主催　　発明協会

後援　　文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

①第 79 回全日本学生児童発明くふう展

同展覧会（当初予定の令和 3 年 3 月開催を延期）は、令和 3 年 10 月 19 日から 21 日にかけ、東京・北の丸公園内の科学技術館において新型コロナウイルス感染防止対策を講じて 2 年半ぶりに開催した。なお、表彰式については同感染症の拡大防止のため中止した。

②第 80 回全日本学生児童発明くふう展

令和 3 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品のうち地域の発明協会より推薦された作品を中心に 696 点の応募があった。これらの作品について審査幹事会を経て、令和 4 年 1 月 26 日に開催した審査委員会において恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

なお、3 月下旬に開催を予定していた展覧会及び表彰式については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い令和 4 年度に開催を延期した。

・第 80 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞　1 点　○特別賞　13 点　○奨励賞　20 点　○入選　122 点

(2) 未来の科学の夢絵画展

主催　　発明協会

後援　　文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、ＮＨＫ、
朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、
日本美術教育連合、美育文化協会

①第 43 回未来の科学の夢絵画展

同展覧会（当初予定の令和 3 年 3 月開催を延期）は、令和 3 年 10 月 19 日から 21 日にかけ、東京・北の丸公園内の科学技術館において新型コロナウイルス感染防止対策を講じて 2 年半ぶりに開催（上記 10.（1）「第 79 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。なお、表彰式については同感染症の拡大防止のため中止した。

②第 44 回未来の科学の夢絵画展

令和 3 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 9,654 点の作品について令和 4 年 2 月 3 日に開催した審査委員会において文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

なお、上記 10.（1）「第 80 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催を予定していた展覧会及び表彰式については、令和 4 年度に開催を延期した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞　11 点　○優秀賞　49 点　○奨励賞　77 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞　1 点　○優秀賞　5 点　○奨励賞　40 点

・「外国人学校の部」

○特別賞　1 点　○優秀賞　5 点　○奨励賞　10 点

(3) 未来の科学の夢絵画展　ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

①少年少女発明クラブ

次の世代を担う人材を育成するため、全国各地域の発明クラブにおいて創造性を育成する活動を行った。なお、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、10 のクラブが年間の活動を中止した。

・発明クラブ設置数：208 クラブ（令和 4 年 3 月 31 日現在）
・クラブ員数：約 8,800 名
・指導員数　：約 2,300 名

②第 86 回少年少女発明クラブ全国会議

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

③少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 56 名（24 クラブ）に対し、感謝状を贈呈した。

④少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした都道府県別研修会（2 か所）を開催した。

⑤少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

＊本事業の①、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

本事業は子どもたちがチームで協力して作品を作り上げ、チーム一丸となってパフォーマンスを競うコンテストであり、新型コロナウイルス感染防止対策が困難なため令和 3 年度は開催を中止した。

(6) 東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの委託事業として、第 64 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は港区立みなと科学館において令和 3 年 12 月 3 日～5 日にかけて開催し、特別賞 11 点、優秀賞 23 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。また、表彰式を会期中の令和 3 年 12 月 4 日に港区立みなと科学館 プラネタリウムホールにおいて新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催した。

（7）青少年創造性開発育成海外交流

世界青少年発明工夫展（IEYI）は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりビデオ審査形式での開催となった（主催：台湾創意発展協会）。

日本からは、第79回全日本学生児童発明くふう展及び第43回未来の科学の夢絵画展において優秀な成績を収めた青少年23名（創作品12点と絵画11点）が英語による作品紹介ビデオを作成して同展に参加、以下の各賞を受賞した。

・日本メンバー受賞結果

〇金賞　6 点　　〇銀賞　9 点　　〇銅賞　4 点　　〇特別賞　4 点

（8）発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（令和 3 年 4 月 18 日）及び科学技術週間（令和 3 年 4 月 12 日から 18 日）協賛事業として、当協会、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行った。

（9）青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 41 回青少年創造性開発育成委員会」を書面により開催した。

（10）青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 3 年度においては、以下の協賛を得た。

・ゴールドスポンサー　9 社・団体
・シルバースポンサー　10 社
・ブロンズスポンサー　20 社
・寄附　5 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）の活動に企画委員として参画した。IIPPF 会員企業等の協力を得て、「第 79 回全日本学生児童発明くふう展」及び「第 43 回未来の科学の夢絵画展」の展覧会において、真正品、模倣品・海賊版の展示（「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」コーナー）を行った。

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）

地方発明表彰式にあわせ例年開催している地域協会会長等との懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。

13. 関係省庁への協力

（1）文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

（2）特許庁知財功労賞への協力

経済産業省･特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」及び「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業の調査・推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会の活動

同協議会が主催し、毎年開催していた新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

15. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員ほか広く一般に配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

Ⅰ－Ⅱ．事業報告書の附属明細書

令和３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和４年５月
公益社団法人　発明協会

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ資産の部			
1. 流 動 資 産			
現金及び預金	147,403,280	131,304,794	16,098,486
未収入金	10,750,812	13,966,371	△ 3,215,559
預け金	11,829,264	9,745,281	2,083,983
前払費用	1,067,697	1,052,317	15,380
流動資産合計	171,051,053	156,068,763	14,982,290
2. 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
青少年創造特定資産	6,000,000	6,000,000	0
退職給付引当資産	4,020,833	23,320,833	△ 19,300,000
特定資産合計	10,020,833	29,320,833	△ 19,300,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	10,020,833	29,320,833	△ 19,300,000
資産合計	181,071,886	185,389,596	△ 4,317,710
Ⅱ負債の部			
1. 流 動 負 債			
買掛金	5,086,892	1,920,994	3,165,898
未払金	54,859,183	57,341,227	△ 2,482,044
前受金	6,540,000	8,290,000	△ 1,750,000
仮受金	9,676,194	10,748,021	△ 1,071,827
預り金	360,175	884,915	△ 524,740
流動負債合計	76,522,444	79,185,157	△ 2,662,713
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	4,020,833	23,320,833	△ 19,300,000
固定負債合計	4,020,833	23,320,833	△ 19,300,000
負債合計	80,543,277	102,505,990	△ 21,962,713
Ⅲ正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	100,528,609	82,883,606	17,645,003
（うち特定資産への充当額）	（ 6,000,000 ）	（ 6,000,000 ）	（ 0 ）
正味財産合計	100,528,609	82,883,606	17,645,003
負債及び正味財産合計	181,071,886	185,389,596	△ 4,317,710

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	30,180,000	30,480,000	△ 300,000
(3) 事業収益	2,733,636	1,000,000	1,733,636
① 発明奨励振興事業収益	(2,733,636)	(1,000,000)	(1,733,636)
(4) 受取補助金等	8,249,021	11,966,371	△ 3,717,350
① JKA補助金	(8,249,021)	(11,966,371)	(△ 3,717,350)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	238,591,909	254,706,181	△ 16,114,272
① 資金寄附収益	(180,278,000)	(194,298,000)	(△ 14,020,000)
② 協賛金収益	(34,090,909)	(31,818,181)	(2,272,728)
③ 資金寄附振替額	(24,223,000)	(28,590,000)	(△ 4,367,000)
(6) 雑収益	1,104,613	1,121,490	△ 16,877
① 雑収益	(1,103,894)	(1,120,923)	(△ 17,029)
② 受取利息	(719)	(567)	(152)
(7) 退職給付引当金等取崩額	23,320,833	0	23,320,833
経常収益計	304,230,012	299,324,042	4,905,970
2. 経常費用			
(1) 事業費	247,928,876	223,733,263	24,195,613
① 発明奨励振興事業費	(118,267,076)	(104,484,904)	(13,782,172)
② 事業人件費	(115,982,062)	(105,567,900)	(10,414,162)
③ 事業事務費	(13,679,738)	(13,680,459)	(△ 721)
(2) 管理費	38,656,133	30,346,146	8,309,987
① 人件費	(16,089,485)	(9,586,676)	(6,502,809)
② 事務費	(22,566,648)	(20,759,470)	(1,807,178)
経常費用計	286,585,009	254,079,409	32,505,600
当期経常増減額	17,645,003	45,244,633	△ 27,599,630
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	17,645,003	45,244,633	△ 27,599,630
一般正味財産期首残高	82,883,606	37,638,973	45,244,633
一般正味財産期末残高	100,528,609	82,883,606	17,645,003
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	24,223,000	28,590,000	△ 4,367,000
① 資金寄附	(24,223,000)	(28,590,000)	(△ 4,367,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 24,223,000	△ 28,590,000	4,367,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	100,528,609	82,883,606	17,645,003

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位:円）

科　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1)御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2)受取会費	15,090,000	15,090,000	15,090,000		30,180,000
(3)事業収益	2,733,636	2,733,636	0		2,733,636
①発明奨励振興事業収益	(2,733,636)	(2,733,636)	(0)		(2,733,636)
(4)受取補助金等	8,249,021	8,249,021	0		8,249,021
①JKA補助金	(8,249,021)	(8,249,021)	(0)		(8,249,021)
(5)受取寄附金・受取協賛金等	221,806,219	221,806,219	16,785,690		238,591,909
①資金寄附収益	(163,492,310)	(163,492,310)	(16,785,690)		(180,278,000)
②協賛金収益	(34,090,909)	(34,090,909)	(0)		(34,090,909)
③資金寄附振替額	(24,223,000)	(24,223,000)	(0)		(24,223,000)
(6)雑収益	0	0	1,104,613		1,104,613
①雑収益	(0)	(0)	(1,103,894)		(1,103,894)
②受取利息	(0)	(0)	(719)		(719)
(7)退職給付引当金等取崩額	0	0	23,320,833		23,320,833
経常収益計	247,928,876	247,928,876	56,301,136		304,230,012
2. 経常費用					
(1)事業費	247,928,876	247,928,876	0		247,928,876
①発明奨励振興事業費	(118,267,076)	(118,267,076)	(0)		(118,267,076)
②事業人件費	(115,982,062)	(115,982,062)	(0)		(115,982,062)
③事業事務費	(13,679,738)	(13,679,738)	(0)		(13,679,738)
(2)管理費	0	0	38,656,133		38,656,133
①人件費	(0)	(0)	(16,089,485)		(16,089,485)
②事務費	(0)	(0)	(22,566,648)		(22,566,648)
経常費用計	247,928,876	247,928,876	38,656,133		286,585,009
当期経常増減額	0	0	17,645,003		17,645,003
[2]経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	17,645,003		17,645,003
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	17,645,003		17,645,003
一般正味財産期首残高	0	0	82,883,606		82,883,606
一般正味財産期末残高	0	0	100,528,609		100,528,609
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
(1)受取寄附金	24,223,000	24,223,000	0		24,223,000
①資金寄附	(24,223,000)	(24,223,000)	(0)		(24,223,000)
(2)一般正味財産への振替額	△ 24,223,000	△ 24,223,000	0		△ 24,223,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
Ⅲ　正味財産期末残高	0	0	100,528,609		100,528,609

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1．継続組織の前提に関する注記
継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2．重要な会計方針

(1)引当金の計上基準
退職給付引当金:役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2)消費税等の会計処理
税抜方式によっている。

3．特定資産の増減額及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	0	0	6,000,000
退職給付引当資産	23,320,833	4,020,833	23,320,833	4,020,833
合　　計	29,320,833	4,020,833	23,320,833	10,020,833

4．特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	(—)	(6,000,000)	(—)
退職給付引当資産	4,020,833	(—)	(—)	(4,020,833)
合　　計	10,020,833	(—)	(6,000,000)	(4,020,833)

5．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。
(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
2021年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	8,249,021	8,249,021	0	—
合　　計		0	8,249,021	8,249,021	0	

6．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位:円)

内　　容	金額
経常収益への振替額	
資金寄附振替額	24,223,000
合　　計	24,223,000

附　属　明　細　書

1．特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2．引当金の明細

（単位:円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	23,320,833	4,020,833	23,320,833	0	4,020,833

財　産　目　録

令和4年3月31日現在

（単位:円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）			
現金	手元保管	運転資金として	822,797
預金	当座預金（三井住友銀行本店営業部）	運転資金として	75,360,578
	普通預金（三井住友銀行本店営業部）	運転資金として	1,200,584
	普通預金（三井住友銀行本店営業部）	運転資金として	1,000,397
	普通預金（三井住友銀行本店営業部）	運転資金として	65,739,762
	普通預金（りそな銀行東京営業部）	運転資金として	78,462
	振替貯金（ゆうちょ銀行本店）	運転資金として	3,200,700
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	10,750,812
預け金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	11,829,264
前払費用	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る借室料他	1,067,697
流動資産合計			171,051,053
（固定資産）			
特定資産			
青少年創造特定資産	当座預金（三井住友銀行本店営業部）	青少年創造性育成開発	6,000,000
退職給付引当資産	当座預金（三井住友銀行本店営業部）	退職給付引当金見合の引当資産	4,020,833
特定資産合計			10,020,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			10,020,833
資産合計			181,071,886
（流動負債）			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	5,086,892
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る出向料他	54,859,183
前受金	会員	公益目的事業及び管理業務に係る会費	6,540,000
仮受金	虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合	移転補償金	9,676,194
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	360,175
流動負債合計			76,522,444
（固定負債）			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	4,020,833
固定負債合計			4,020,833
負債合計			80,543,277
正味財産			100,528,609

収　支　計　算　書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　異	備　考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
〔1〕経常増減の部				
1. 経常収益				
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
(2) 受取会費	29,500,000	30,180,000	△ 680,000	
(3) 事業収益	3,408,000	2,733,636	674,364	
① 発明奨励振興事業収益	(3,408,000)	(2,733,636)	(674,364)	
(4) 受取補助金等	28,220,000	8,249,021	19,970,979	
① JKA補助金	(28,220,000)	(8,249,021)	(19,970,979)	
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	248,368,000	238,591,909	9,776,091	
① 資金寄附収益	(193,268,000)	(180,278,000)	(12,990,000)	
② 協賛金収益	(35,100,000)	(34,090,909)	(1,009,091)	
③ 資金寄附振替額	(20,000,000)	(24,223,000)	(△ 4,223,000)	
(6) 雑収益	1,084,000	1,104,613	△ 20,613	
① 雑収益	(1,084,000)	(1,103,894)	(△ 19,894)	
② 受取利息	(0)	(719)	(△ 719)	
(7) 退職給付引当金等取崩額	0	23,320,833	△ 23,320,833	
経常収益計	310,630,000	304,230,012	6,399,988	
2. 経常費用				
(1) 事業費	310,803,000	247,928,876	62,874,124	
① 発明奨励振興事業費	(187,963,000)	(118,267,076)	(69,695,924)	
② 事業人件費	(105,367,000)	(115,982,062)	(△ 10,615,062)	
③ 事業事務費	(17,473,000)	(13,679,738)	(3,793,262)	
(2) 管理費	44,433,000	38,656,133	5,776,867	
① 人件費	(8,340,000)	(16,089,485)	(△ 7,749,485)	
② 事務費	(36,093,000)	(22,566,648)	(13,526,352)	
経常費用計	355,236,000	286,585,009	68,650,991	
当期経常増減額	△ 44,606,000	17,645,003	△ 62,251,003	
〔2〕経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 44,606,000	17,645,003	△ 62,251,003	
一般正味財産期首残高	22,560,000	82,883,606	△ 60,323,606	
一般正味財産期末残高	△ 22,046,000	100,528,609	△ 122,574,609	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄附金	20,000,000	24,223,000	△ 4,223,000	
① 資金寄附	(20,000,000)	(24,223,000)	(△ 4,223,000)	
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,000,000	△ 24,223,000	4,223,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 22,046,000	100,528,609	△ 122,574,609	

（説明資料）

収　支　計　算　書（資金ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

No.	科　　目	予算額	決算額	差　異	備　考
	Ⅰ 事業活動収支の部				
	1. 事業活動収入				
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
2	(2) 会費収入	29,500,000	30,180,000	△ 680,000	
3	(3) 事業収入	3,408,000	2,733,636	674,364	
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,408,000)	(2,733,636)	(674,364)	
5	(4) 補助金等収入	28,220,000	8,249,021	19,970,979	
6	① JKA補助金収入	(28,220,000)	(8,249,021)	(19,970,979)	
7	(5) 寄附金・協賛金収入	248,368,000	238,591,909	9,776,091	
8	① 資金寄附収入	(213,268,000)	(204,501,000)	(8,767,000)	
9	② 協賛金収入	(35,100,000)	(34,090,909)	(1,009,091)	
10	(6) 雑収入	1,084,000	1,104,613	△ 20,613	
11	① 雑収入	(1,084,000)	(1,103,894)	(△ 19,894)	
12	② 受取利息	(0)	(719)	(△ 719)	
13	事業活動収入計	310,630,000	280,909,179	29,720,821	
	2. 事業活動支出				
14	(1) 事業費支出	307,165,000	244,997,687	62,167,313	
15	① 発明奨励振興事業支出	(187,963,000)	(118,267,076)	(69,695,924)	
16	② 事業人件費	(105,367,000)	(115,982,062)	(△ 10,615,062)	
17	③ 事業事務費	(13,835,000)	(10,748,549)	(3,086,451)	
18	(2) 管理費支出	43,246,000	37,566,489	5,679,511	
19	① 人件費	(8,340,000)	(16,089,485)	(△ 7,749,485)	
20	② 事務費	(34,906,000)	(21,477,004)	(13,428,996)	
21	事業活動支出計	350,411,000	282,564,176	67,846,824	
22	事業活動収支差額	△ 39,781,000	△ 1,654,997	△ 38,126,003	
	Ⅱ 投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入				
23	(1) 特定資産取崩収入	6,000,000	23,320,833	△ 17,320,833	
24	投資活動収入計	6,000,000	23,320,833	△ 17,320,833	
	2. 投資活動支出				
25	(1) 特定資産支出	4,825,000	4,020,833	804,167	
26	投資活動支出計	4,825,000	4,020,833	804,167	
27	投資活動収支差額	1,175,000	19,300,000	△ 18,125,000	
28	当期収支差額	△ 38,606,000	17,645,003	△ 56,251,003	
29	前期繰越収支差額	19,560,000	76,883,606	△ 57,323,606	
30	次期繰越収支差額	△ 19,046,000	94,528,609	△ 113,574,609	

以上の通り相違ありません。

令和4年5月16日

公益社団法人　　発　明　協　会

会 長　　野 間 口　　有

令和3年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

令和4年5月16日

監査役　　石　井　宏　治

監査役　　梶　原　徳　二